DIY用

アサヒペン

オイルフリーエアーコンプレッサー

APX-900

空気タンク容量
8L

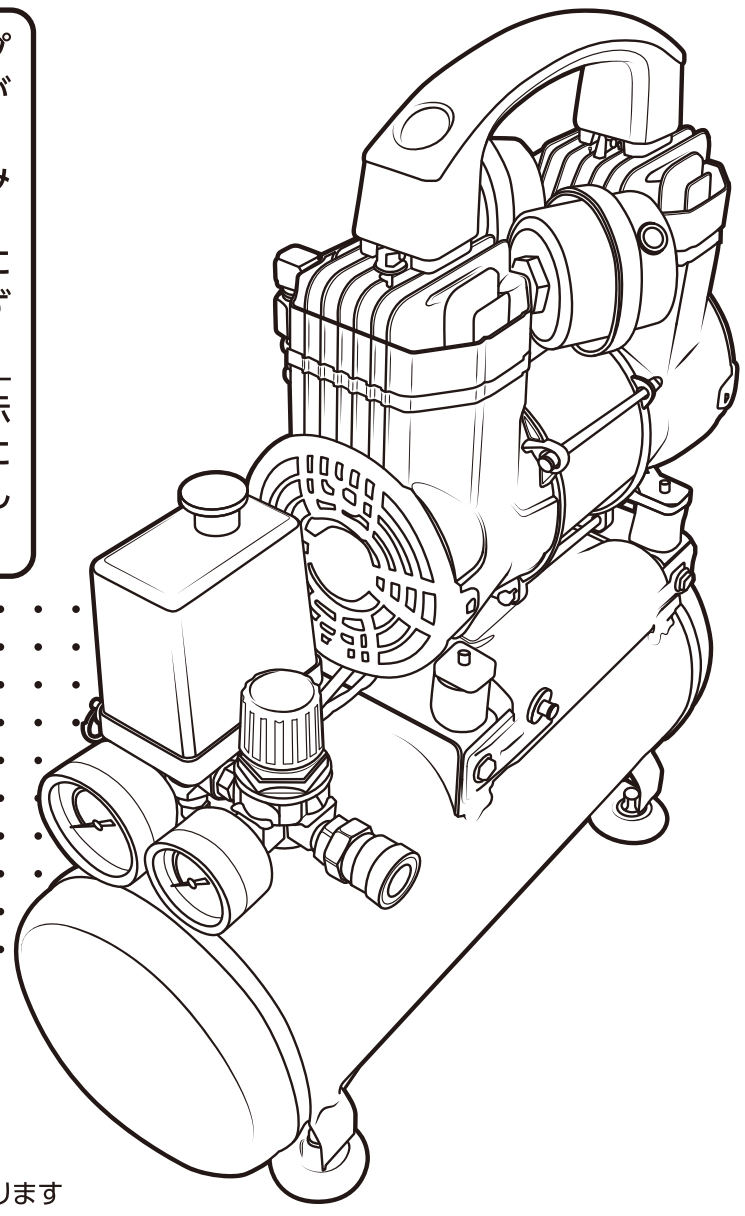
取扱説明書

〔保証書付き〕

※本機はDIY用（一般家庭用）機種なので業務用には推奨できません。

このたびは、DIY用オイルフリーエアーコンプレッサーAPX-900をお買い上げいただきありがとうございます。
この『取扱説明書』をご使用前に必ずよくお読みいただき、正しくお使い下さい。
また、『保証書』はこの『取扱説明書』と一体になっていますので、お買い上げの販売店で必ず記入を受け、大切に保管して下さい。

この取扱説明書の中に表示してあります絵表示は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防ぎ、正しく安全にお使いいただくために記載しておりますので、必ずお守り下さい。



※ 改良のため外観、仕様などを予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

ASAHIPEN CORP.

目　次

●用途と特長 ……1
●正しく安全にお使いいただくために ……1
1.製品仕様 ……1
2.安全上の注意 ……2
3.取扱上の注意 ……2
4.製品各部の名称と働き ……3・4
5.ご使用前に ……5
6.使用方法 ……6
7.日常の点検方法 ……6
8.異常発生時の原因と処置 ……7
9.アフターサービスについて ……8

用途と特長

- メンテナンスフリーのオイルレス方式で、オイルを入れる必要はありません。
- スプレーガン、エアーブラシ、エアーダスター、エアーカッター、エアー釘打ち機（50mm以下）、各種空気入れ（タイヤ、ゴムボート、ボールなど）の幅広い用途に使用できます。
- 本体に圧力計と圧力調節バルブが付いていますので、用途に合わせて圧力が調整できます。
- 自動圧力スイッチにて継続運転し、空気タンクの圧力を0.78～0.59MPa（8～6kgf/㎠）の範囲に制御します。

空気吐出量の関係で使用できないエアー工具があります。
ご使用になるエアー工具の空気使用量、所要コンプレッサー空気吐出量をご確認下さい。

正しく安全にお使いいただくために

●絵表示について

この取扱説明書及び製品の表示には、正しく安全に製品をお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示を使用しています。絵表示の意味は次のようになっています。
内容を理解してから本文をお読み下さい。

警告　この表示を無視した取扱いをすると、人が死亡したり、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視した取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示

破裂注意

必ず実行

火気注意

禁　　止

感電注意

高温注意

火災注意

製品仕様

※本機はDIY用（一般家庭用）機種なので業務用には推奨できません。

定格電圧（V）		100	
周波数（Hz）		50	60
消費電力（W）		700	900
空気吐出量（L/min）	at0.3MPa	90	105
	at0.6MPa	40	55
出力		約1.2馬力	
最高圧力（MPa）		0.8	
圧力スイッチ〔作動圧力〕（MPa）		0.78（8kgf/㎠）	
圧力スイッチ〔復帰圧力〕（MPa）		0.59（6kgf/㎠）	

安全弁作動圧力（MPa）	0.88（9kgf/㎠）
作動音（dB）	75
空気タンク容量（L）	8
エアー供給口	1/4インチカプラ（ソケット）
電源コード（m）	1.7
寸法：幅×奥行×高（mm）	455×195×440
重量（kg）	12.5
方式	オイルレスピストン方式
定格時間	60分

※（1MPa=10.2kgf/㎠）

2. 安全上の注意

ご使用前に全ての説明を読み、よく理解して安全にお使い下さい。

⚠警告

必ず実行

●製品の手入れをするときは、必ず電源プラグを抜き、空気タンク内の圧縮空気を抜いてから行って下さい。

必ず実行　火災注意

●使用しないとき及び作業を中断するときは、必ず圧力スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

事故、火災のおそれがあります。

必ず実行

●ホースやエアー工具の脱着は、取り出し空気圧力を0MPaに調節するなどして、圧力がかからない状態にし、ホース等をしっかり持って行って下さい。

内圧の反動でホースが飛び跳ねることがあります。

必ず実行

●各種のエアー工具を使用するときは、その工具の取扱説明書をよく読み、使用圧力範囲内に圧力を設定してから使用して下さい。必要以上の圧力を加えると故障や事故の原因になります。

必ず実行

●調子が悪かったり異常な音や振動などを感じた場合は、直ちに使用を中止して電源プラグを抜いて下さい。8項の「異常発生時の原因と処置」にしたがって点検を行い、それでも直らないときは、お買い上げの販売店または弊社に連絡して修理等を行って下さい。

必ず実行

●異常を感じた場合には直ちに圧力スイッチをOFFにして電源プラグを抜けるよう、必ず目の届く所でご使用下さい。

禁　止

●圧縮空気は、人間やペット等の動物の呼吸用及び水槽の送気用などには使用できません。

火気注意

●火気が禁じられた場所では使用しないで下さい。

モーターの接点により引火するおそれがあります。

高温注意

●始動後、まもなくモーターカバー、パイプ、チェックバルブ周辺が熱くなりますので、触れないように注意して下さい。

やけどするおそれがあります。

感電注意

●電気製品ですので、雨や水に濡れる場所では使用しないで下さい。

故障や感電のおそれがあります。

破裂注意

●空気タンクを改造したり、圧力スイッチの設定を変更したり、安全弁をはずしたりしないで下さい。また、分解しないで下さい。

空気タンクが破裂したり、故障や感電のおそれがあります。

破裂注意

●使用後は、毎回必ず空気タンクの空気及び凝縮水をドレンから抜いて下さい。

空気タンク内が錆びて破裂するおそれがあります。

火災注意　感電注意

●交流100V以外では使用しないで下さい。また、痛んだコードやゆるいプラグ、コンセントは使用しないで下さい。

火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

火災注意

●幼児の手が届かない、換気がよく湿気やホコリの少ない場所に設置して下さい。また、壁から30cm以上離して本品からの熱を逃がすようにして下さい。本品の上、下、周辺には物を置かず、又放熱を妨げるカバーやダンボール等をかぶせないで下さい。

必ず実行

●塗料や研磨剤等をスプレーする場合は、作業中に直接吸い込まないようにマスクをつけ、メガネやゴーグル等で目を保護し、換気のよい場所で行って下さい。また、スプレーするものの容器に表示された注意事項をよく読んでから行って下さい。

●使用する工具に応じて、ゴーグルや手袋等の適切な保護具を着用して下さい。

3. 取扱上の注意

DIY用としてお使い下さい。

① 本品はオイルレス方式ですので注油の必要はありません。
② 落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。
③ 安定するところに置いて下さい。
④ 発電機での使用はしないで下さい。
⑤ 電源からのたこ足配線は避け、必ず定格15A以上100V用コンセントから直接とって下さい。コンセントと作業場が遠い場合は、エアーホースを長くして下さい。（コードを延長するよりも、エアーホースを長くする方が効率的です。）どうしても延長コードが必要な場合は定格15A以上、断面積2.0㎟以上、長さ10m以下のコード、または15A以上、断面積3.5㎟以上、長さ20m以下のコードを全て伸ばした状態で使用して下さい。巻いたまま使用したり、細いコードのものは、電圧が下がり、始動しない場合があります。
⑥ 本品は高出力で特にモーターの始動、再始動の際には多くの電気が必要となります。接続するコンセントと同じ屋内配線ブレーカーにつながるコンセントで他の電気製品が使用されている場合は、始動しないことがありますので、他の電気製品の使用を中止してから本品のスイッチを入れて下さい。本品は電圧降下等により電圧が90V以下になりますと始動しない場合があります。
⑦ 作動音は約75dBです。ご使用に際し周囲に迷惑をかけないように注意して下さい。騒音防止規制は各都道府県条例で定められています。状況に応じて遮音壁を設けるなどして下さい。
⑧ ゴム足がプラスチックや塗装面と長時間接触すると、くっつくことがありますので注意して下さい。
⑨ 定格時間を超える連続運転は故障の原因となりますので、定格時間を超えて連続使用しないで下さい。ご使用は必ず定格時間以内とし、必ず使用時間以上の休止時間を取って下さい。

4. 製品各部の名称と働き

ハンドル

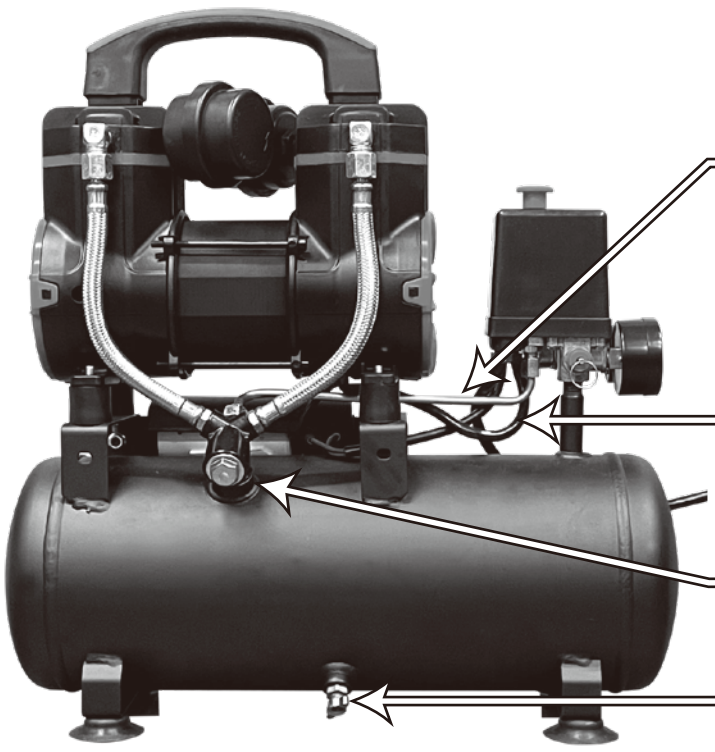
フィルター（2ヵ所）

リセットボタン

過負荷保護装置のリセットボタンになります。モーターに何らかの原因により、過負荷が掛かった際に装置保護のため自動的に電源が落ちるようになっています。この時、リセットボタンが飛び出します。異常を取り除いたのちボタンを押すことで通常の運転に戻すことができます。

空気タンク

圧縮空気を溜めます。



空気抜きパイプ

モーター停止時、圧縮機からタンクへ続くパイプ内の圧力を下げるためのもの。再始動時のモーターへの負荷を減らします。

電源コード

電源は定格15A以上の100V用コンセントより直接取って下さい。

チェックバルブ

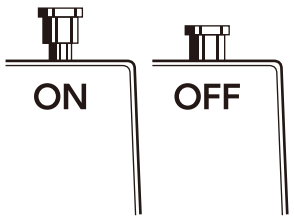
逆流を防ぐ逆止弁

ドレン

空気タンクにたまった空気及び凝縮水を抜くことができます。
使用後は、毎回必ず抜いて下さい。

圧力スイッチ

スイッチを引き上げONの位置にすればモーターを自動的にON-OFF運転します。空気タンクの圧力が作動圧力まで高くなるとモーターが止まり、復帰圧力まで下がるとモーターが始動します。



安全弁

空気タンクの圧力が規定圧力以上に高くなれば作動し、コンプレッサーを保護します。

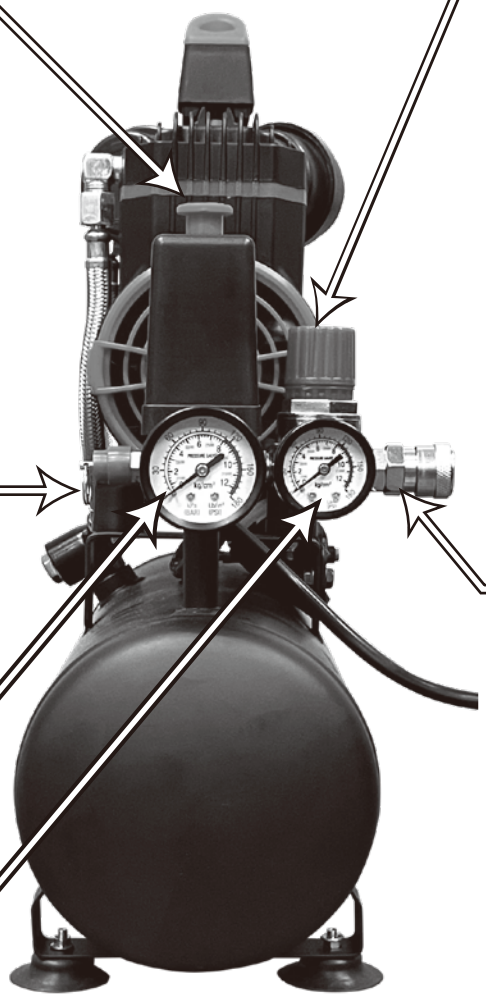
※ ご使用前にリングを引っ張り動くかどうか確認して下さい。

空気タンク用圧力計

タンク内の圧力を示します。

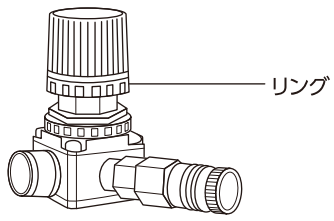
取り出し空気用圧力計

圧力調整バルブで設定した取り出し空気の圧力を示します。



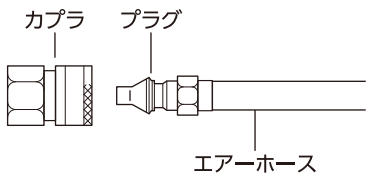
圧力調節バルブ

使用空気の圧力を必要な圧力に調節するために使います。
つまみを右（+方向）に回すと圧力は高くなり、左（ー方向）にまわすと圧力は下がります。
取り出し空気用圧力計を見ながら設定して下さい。つまみのすぐ下のリングをつまみ、きっちり締めつければ、つまみが動かなくなり圧力を固定することができます。



カプラ

1/4インチ対応のプラグを接続して下さい。



圧力（MPa）		用具・エアー工具
低圧力↕高圧力	0.1	コーキングガン、ゴムボート等の空気入れ
	0.2	エアーブラシ、自動車空気入れ
	0.3	スプレーガン、薬剤スプレー
	0.4	スプレーガン、エアーダスター、エアータッカー
	0.5	自転車空気入れ、エアータッカー、エアー釘打ち機
	0.6	フィルター等掃除、エアータッカー、エアー釘打ち機
	0.7～0.78	エアータッカー、エアー釘打ち機

注1）上記の圧力は一応の目安です。実際には使用する工具の使用圧力に合わせてご使用下さい。
注2）空気の吐出量の関係で使用できない工具があります。

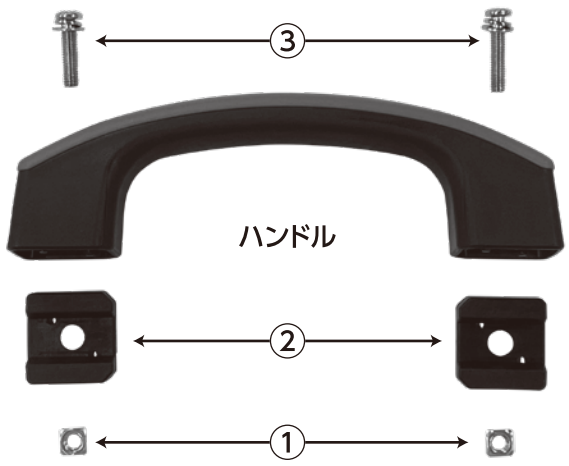
⚠ 注意

モーターと電源

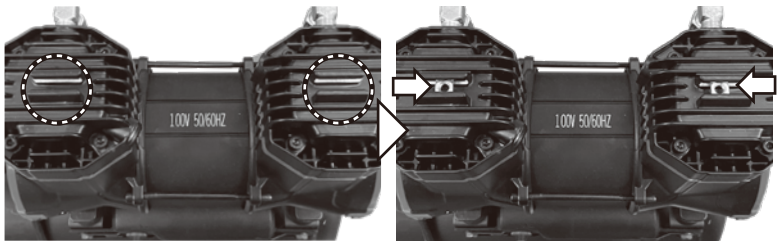
モーターには、保護装置（サーキットブレイカー）が内蔵されています。
電圧降下が大きかったり、モーターが異常に加熱した場合、モーター保護のためにリセットボタンが飛び出し自動的にモーターが停止します。この場合、スイッチをOFFにして電源プラグを抜いて下さい。モーターが冷えるのを待って（約15分）リセットボタンを押し、電源プラグを差し込み、スイッチをONにすれば再始動します。
頻繁に停止する場合は、コンセントの電圧が低下していないか、たこ足配線していないか、延長コードが取扱上の注意に記載のものか、他に電気製品を使用していないかご確認下さい。

5. ご使用前に

❶ハンドルを取り付けます。

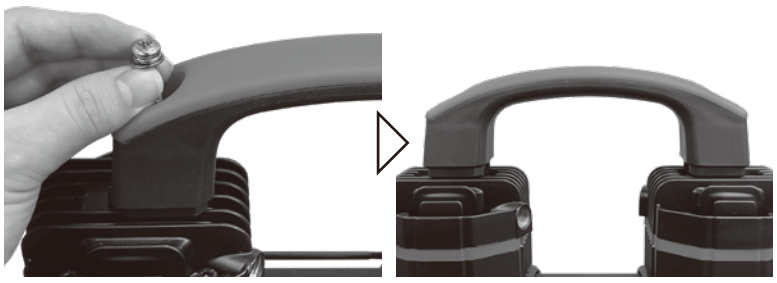


1. 下記写真にあるレール状の場所に、①ナットを矢印方向に滑り込ませるように設置します。

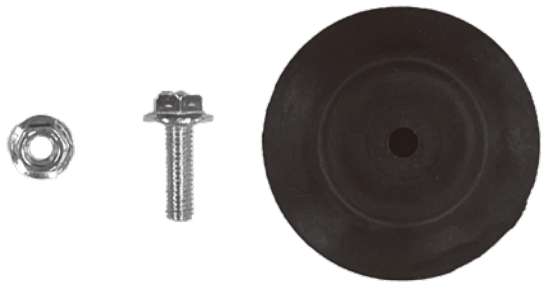


2. ハンドル底部に②の部品を取り付けます。

3. ハンドルを1.の手順で設置したナットに、位置を調整しつつ③のネジを、緩みが無いようにしっかりと締め付けます。

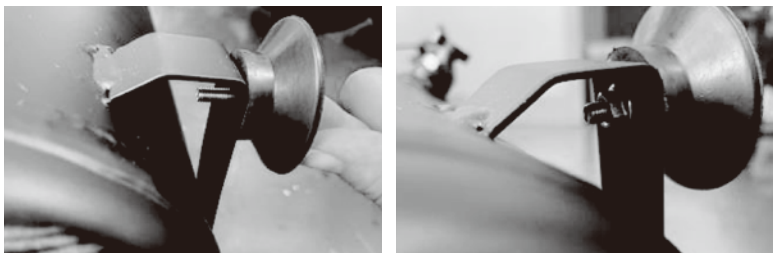


❷フットパッドを取り付けます。



1. 以下の右写真にあります製品底部に、ネジを通したフットパッドを合わせます。

2. ナットを締めフットパッドを固定して下さい。



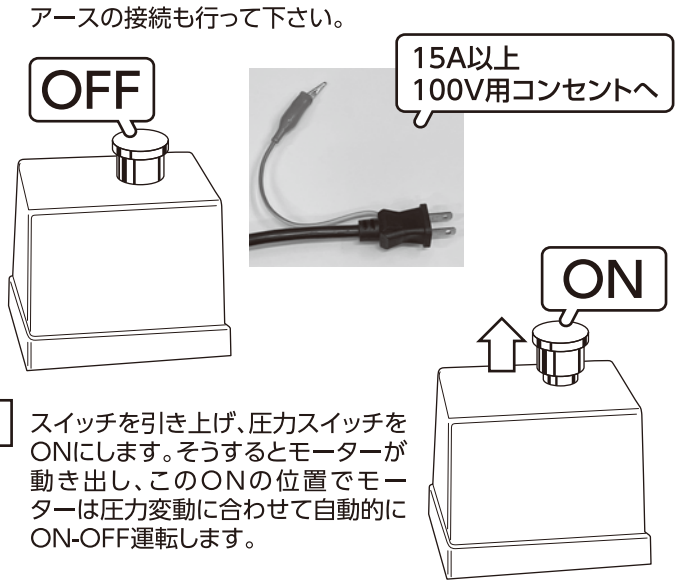
3. 上の手順と同様に全4ヵ所にフットパッドを取り付けて下さい。

6. 使用方法

1 付属のフィルターを2か所取り付けます。

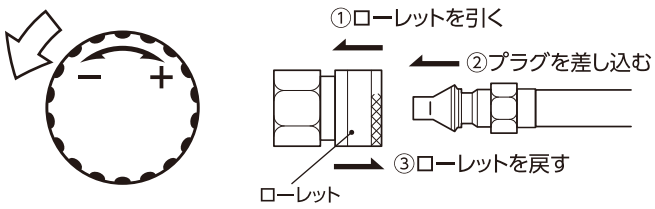
2 ドレンが閉まっているか確認して下さい。

3 圧力スイッチがOFFになっているか確認し、電源プラグを定格15A以上の100V用コンセントに差し込んで下さい。
アースの接続も行って下さい。

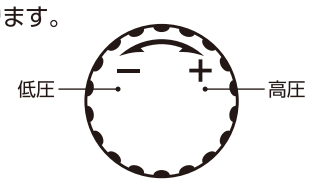


4 スイッチを引き上げ、圧力スイッチをONにします。そうするとモーターが動き出し、このONの位置でモーターは圧力変動に合わせて自動的にON-OFF運転します。

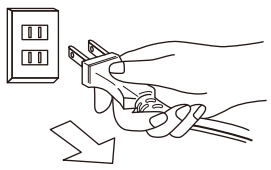
5 圧力調整バルブを左(−方向)に回し、取り出し空気用圧力計が0MPaになるように調節して下さい。
その後、エアー工具をホースに取り付けてからホースを本品に接続して下さい。



6 圧力調整バルブで取り出し空気用圧力計を見ながら所定の圧力に合わせて下さい。右(+方向)に回せば圧力は高くなり、左(−方向)に回せば圧力は低くなります。

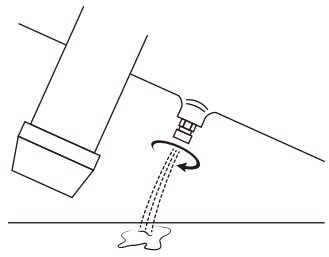


7 使用後は、圧力スイッチをOFFにし、必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。



その後、ドレンを開けて空気タンク内の圧縮空気と凝縮水を抜いて下さい。

※ドレンのねじが回しにくい場合は、ハンドルを掴み、本品を少し傾けてから回して下さい。
その際、抜けた圧縮空気が顔等に当たらないように注意して下さい。



7. 日常の点検方法

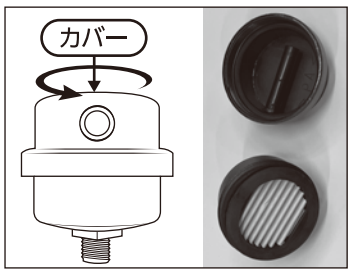
日常点検

①電源コード、プラグの点検。
②安全弁の点検。(リングを引っ張って動くかどうか)
③異常な音や振動の点検。
④コンプレッサー各部より空気漏れ点検。
⑤使用後、空気タンクの空気及び凝縮水をドレンより抜く。

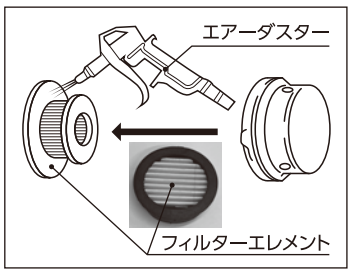
※①、②の点検を行う際、必ず空気タンク内の圧縮空気を抜き、電源プラグはコンセントから抜いた状態で行って下さい。

■フィルターの掃除は必要に応じて行って下さい。

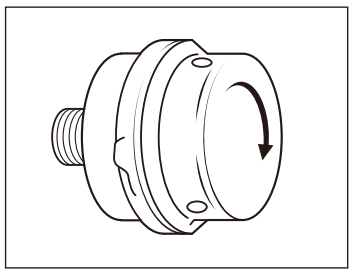
①フィルターを左に回して本体から外して下さい。



②カバーを左に回してロックを外して下さい。



③フィルターエレメントを外し、エアーブローして下さい。



④突起部分とフタのくぼんだ部分を合わせて押して右に回して下さい。

8. 異常発生時の原因と処置

不具合、症状	原因	処置・説明
①モーターが回転せず、音が出ない	電源が入っていない	プラグとスイッチを確認します。
	過負荷保護装置が作動している	モーターを冷やしてから、リセットボタンを押し、再起動を掛けます。
	圧力スイッチの不良、または破損している	圧力スイッチの修理(交換)
	モーター固定子巻線が焼けた	モーターの修理または交換
	ヒューズがとんでいる、ブレーカーがおちている	ヒューズ、ブレーカーを確認。他に電気製品を使用していれば使用をやめる。ヒューズ、ブレーカーの定格を調べてから電源を入れ直して下さい。
②モーターから音はするが、非常にゆっくり回転する、またはしない	電圧が低すぎる	定格15A以上100V用コンセントから直接電源をとって下さい。たこ足配線や延長コードを使用すると電圧が下がります。
	モーターコイルの短絡または開回路	モーターの修理または交換
	チェックバルブまたは空気圧スイッチの損傷	新しい部品と交換が必要です。
③サーキットブレーカー(過負荷保護装置)が繰り返し起動し、電源を遮断する	電圧が低すぎる	定格15A以上100V用コンセントから直接電源をとって下さい。たこ足配線や延長コードを使用すると電圧が下がります。
	換気不良および高温	換気の良い場所に移動させ、モーターが冷めるのを待ちます。
④空気漏れ	接続部が緩んでいて、漏れがある	各接続コネクタを確認し、緩みを取り除きます。
	ドレンのねじが開いている	ドレンのねじを閉めます。
	チェックバルブ(逆止弁)漏れ	チェックバルブ内のパッキンにゴミが付着している場合は取り除く。それでもまだ漏れるようであれば修理(交換)。
⑤取り出し空気に水分が多く含まれている	空気タンク内に水が溜まっている	ドレンのねじを開き、空気タンク内の水を排出します。
	使用環境下の湿度が高すぎる	湿度の低い場所に移します。

不具合、症状	原因	処置・説明
⑥モーターが作動し続けている	圧力スイッチが破損している	圧力スイッチを交換します。
	空気漏れが起きている	④「空気漏れ」を参照
⑦異常な音、振動	フットパッドの損傷または欠落	フットパッドを交換します。
	エアーコンプレッサーの部品が経年劣化または破損している	摩耗または損傷した部品の交換、修理が必要です。
⑧圧力が上がらない。または設定圧力に到達できない	ドレンのねじが開いている	ドレンのねじを閉めます。
	フィルターが目詰まりしている	フィルターを清掃または交換します。
	空気漏れ	④「空気漏れ」を参照
	圧縮機内部の部品が摩耗などにより、正常に機能していない。	新しい部品と交換します。
⑨安全弁が作動する	圧力スイッチの故障(圧力スイッチの作動圧力がずれている)	圧力スイッチの修理(交換)
	安全弁の故障(安全弁の作動圧力がずれている)。	安全弁の修理(交換)
⑩圧力が上がりにくくなった	フィルターの汚れ	フィルターを清掃します。
	ドレンのねじが開いている	ドレンのねじを閉めます。
	空気漏れ	④「空気漏れ」を参照

9. アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

- オイルフリーエアーコンプレッサーAPX-900をお買い上げの販売店に保証書ご提示の上、修理をご用命下さい。
- 保証書の規定により、無償又は有償で修理いたします。
- 保証期間外の修理につきましては、有償で修理いたします。お買い上げいただきました販売店にご連絡下さい。
- 出張修理はいたしておりません。

保証規定

1. 保証期間中に、材質、製造上の欠陥により万一故障が生じた場合は、お買い上げいただきました販売店に、保証書ご提示の上、修理をご用命下されば、無償で修理いたします。
2. 保証期間中でも下記の場合は無償修理いたしかねますのでご了承願います。
   - (イ)輸送、移動の際、落下等お取り扱いが適当でないために生じた故障・損傷の場合。
   - (ロ)火災、天災、異常電圧等による故障・損傷の場合。
   - (ハ)取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取り扱いによって発生した故障の場合。
   - (ニ)一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合及び改造された場合。
   - (ホ)保証書のご提示がない場合。
   - (ヘ)保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を訂正された場合。
   - (ト)フィルター、ピストン、シリンダー、エアーホース等、消耗部品の摩耗などの故障。

オイルフリーエアーコンプレッサー 保証書

- 但し、一般家庭にご使用の場合のみ。業務用にご使用の場合は除く。

型式	APX-900	保証期間	お買い上げ日より1年間
お買い上げ年月日	年　月　日		

お客様	ご住所 〒 電
販売店	名・住所・電 ※販売店の証明がない場合は、購入時のレシートを貼付けて下さい。

見本

- 正常なご使用状態(取扱説明書ご参照)のもとで万一発生した故障については、上記の通りお買い上げ日より1年間、保証規定に基づき、無償で修理いたします。
- 万一故障の場合は、お買い上げいただきました販売店へ保証書ご提示の上、修理をご用命下さい。

株式会社 アサヒペン

大阪本社／〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12　TEL 06-6930-5001㈹

サービス網一覧表

〈APX-900〉をはじめ、アサヒペンへのご相談、お問い合わせは下記の所へお気軽に。

株式会社 アサヒペン

大阪本社　〒538-8666　大阪市鶴見区鶴見4-1-12　電話06-6930-5001㈹
東京本社　〒135-0003　東京都江東区猿江2-3-16　電話03-3846-6111㈹

札幌営業所　〒003-0030 札幌市白石区流通センター4-2-5　電話 011-863-3288
仙台営業所　〒981-3112 宮城県仙台市泉区八乙女4-6-6　電話 022-218-5880
北関東営業所　〒367-0206 埼玉県本庄市児玉町共栄800番地2　電話 0495-73-3008
東京 第一営業所 第二営業所　〒135-0003 東京都江東区猿江2-3-16　電話 03-3846-6112
大阪営業所　〒538-8666 大阪市鶴見区鶴見4-1-12　電話 06-6930-5008
広島営業所　〒735-0021 広島県安芸郡府中町大須4-1-58　電話 082-282-0965
九州営業所　〒813-0011 福岡県福岡市東区香椎1-22-5-201　電話 092-661-3310

お問い合わせ先　お客様相談室　☎06-6934-0300
受付は土曜・日曜・祝日・年末年始・夏期休暇期間を除く午前9時～午後5時まで
ホームページアドレス https://www.asahipen.jp